

「コロナ禍の中での精神科医療」



大村病院
理事長
森村 安史

令和二年は、まさに新型コロナウイルスに右往左往させられる一年になりました。そしてこのコロナ禍はこれからいつまで続くのかさえわかりません。医療機関はどこでもコロナ対策に躍起となり、この禍を院内に持ち込まないようにと日々苦心しています。

精神科病院のような高齢者が閉鎖された空間の中に大勢で暮らしているという環境ではクラスターが発生するととても大変なことになってしまいます。いくつかの精神科病院では、大規模なクラスターが発生して、入院中の患者さんやそのご家族の皆様にも多大なご心配をおかけしたと聞いています。そのため、どこの病院でも職員が持ち込むことが絶対に無いように日々

注意喚起をしております。そして面会や外出の制限をさせていただくなど多大なご不便をおかけすることになってしまっています。

三密をさけ、人と人との会話を減らし、外出する機会を無くすことが推奨される社会になっています。しかし人間関係は人と人が接触して会話することが基本です。これがなければ恋愛も友情も生まれることはありません。コロナの社会はこうした人間関係の基礎を破壊しようとしているのではないかとさえ思っています。

いくらがオンラインで会議や飲み会が出来たとしても、機械を経由した人間関係は、自然な交流を生むには不適切であると思っています。精神科医療は人と人との関係を大切にする医療です。コロナ禍の世界の中でもやはりこの原則を崩すことはできません。このような困難な時代ではありますが、人があるべき基本的な思いを大切にしたい医療を工夫しながら行っていきたいと思っています。



山道を歩いていると梅がおり、誘われるかの如く日が出てきました。という意味の俳句だそうです。今やその様なのかな日々を過ごしている人がどれだけのいるでしょうか。些細なことに気を配る日々を過ごし、モチベーションと緊張感を維持しなければならぬ状態が続く中で、昨年から流行した新型コロナウイルスが全世界を混乱と更なる緊張をもたらしています。

職業柄、世知辛い話を聞くことが多く、自分自身に余裕を感じられなくなる日々を過ごしていると視野の狭い世界しか見ていないことを忘れてしまいます。

この度、コラムの依頼が来たときもその様な感情で引き受けましたが、資料を探すうちに自分が知らない世界がどんなに多いことが改めて知り、「忙しい中にも心はのほほんとしていよう」という気持ちになったことは大きな収穫でありました。

のほほんとした心



副院長
中島 貴也

梅が香るのじゆ日の出る 山路かな

松尾 芭蕉

職員紹介

令和元年4月より大村病院の検査室でお世話になっております、中村美絵と申します。

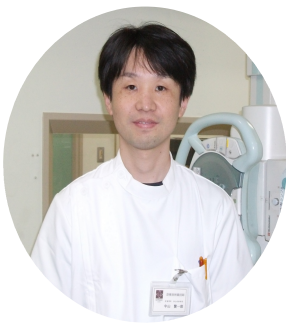
神戸出身で、神戸常磐大学(当時は短期大学)で臨床検査を学び、卒業後は検査機器メーカーの検査センターを経て分析の仕事をして参りました。

病院勤務は当院が初めての経験で、医局の先生方やスタッフの皆様にお力添え頂き、現在に至ることができております。

検査側から患者様の臨床のお役に立てるよう、日々努力していきたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。



検査室
中村 美絵



放射線室
中山 賢一郎

令和2年6月より臨床放射線技師として勤務しています中山賢一郎と申します。

私は、兵庫県神戸市の出身で平成16年に国家試験に合格し、技師歴は16年になります。

診療放射線技師は医療における放射線を扱う職種です。検査や治療を行う時に必要になる医師の指示を受けて人体に照射できる資格が与えられています。

現代医療ではレントゲン検査やCT検査などが一般的に行われていますが、このような装置を扱っているのが放射線技師です。

又、検査だけでなく、扱う装置の管理や放射線被爆管理などの仕事も大事な業務となっています。

まだまだ未熟者ですが日々精進して参りますので今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

薬局からこんにちは

薬剤師 大澤 悠紀

薬剤師の大澤悠紀と申します。近頃はドラッグストアや調剤薬局などで薬剤師と関わる事も多くなってきているのではないのでしょうか。しかし、病院薬剤師がどのような職業なのかご存知でない方もいらっしゃるかも知れません。昨年放送されたドラマ「アンサング・シンデレラ」をご覧になられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これまで医療ドラマで薬剤師がフォーカスされたことはなく、病院薬剤師が主役のドラマは日本初だったそうです。「アンサング」とは「褒められない」という意味で医療現場で「縁の下の力持ち」として奮闘する薬剤師が描かれております。知人にも私の仕事について尋ねられる事が多くなり、病院薬剤師を知って頂ける機会になったのではないかと思います。



精神疾患の治療には精神療法や行動療法などがありますが、薬物療法の役割は大きく、中心となる治療法です。再発を防ぐためには安定した服薬が重要となります。薬剤師は第一に安全に薬物療法を行えるよう調剤しなければいけませんが、それだけが役割ではありません。お薬の効果や副作用の発現は個人差があります。患者様やご家族のお話を伺い、副作用の症状の変化や服薬中の発現有無を確認し、医療スタッフで共有し、最適な薬物療法が提供出来るように私たち薬剤師がお役に立てればと思います。入院の有無に関わらず服薬中で気になることや困っている事がございましたら、お気軽にご相談下さい。

大村病院基本理念

私たちは

- 1 医療を行うに当たり「ヒポクラテスの誓い」を、行動の倫理的基盤とし、常に自らの行為が「誓い」の精神にかなうように努めます。
- 2 慈愛に満ちた良質な医療を提供するために、専門職業人としての能力を研鑽するように努めます。
- 3 患者さま個人の尊厳に重きをおき、人権に配慮された親切で丁寧な対応をするように努めます。
- 4 医療を通して地域社会に貢献し、人々の健康維持、増進に寄与するように努めます。

お出かけスポット 桜回廊



全長4kmの美しい桜のトンネルで約650本の桜並木は西日本最大級の規模を誇っています。5種類の桜が加古川の上流へ開花順に植樹され、3月から4月上旬まで長期にわたって楽しめます。

場所 小野市古川町から住永町（加古川堤防左岸）

●編集後記

鬼滅の刃が流行、ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。昔から鬼を退治するおとぎ話は多く、まさに令和版のおとぎ話といった所でしょうか。
なぜ今鬼滅の刃が子供から大人まで幅広く愛されるのか。ご覧になった方は解るかと思いますが、主人公が退治する鬼一人一人の過去に敬意を持って成敗しているところではないでしょうか。
コロナ禍で皆さんが色々な形の不安を持ち、追い詰められてしまっている今、精神科に勤める私たちが竈門炭次郎の様に全集中で心の鬼を退治できたらと感じています。

●ご意見・お問合せ

大村病院広報委員会 ohmura@ohmura-hp.net



医療法人樹光会 大村病院

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話: 0794-82-1132 FAX: 0794-83-5739
<http://www.ohmura-hp.net/>

関連病院・施設等

デイケアセンターみちしば

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話: 0794-82-1132 Fax: 0794-83-5739

就労継続支援B型 こもれび

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地190
電話: 0794-70-7115 Fax: 0794-82-2173

グループホーム こもれび

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地190
電話&Fax: 0794-82-2173

グループホーム ひかり

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地223
電話&Fax: 0794-82-2173

訪問看護ステーション あぶい

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話&Fax: 0794-83-6624

あぶい 居宅介護支援事業所

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話: 0794-82-2726 Fax: 0794-83-6624

小野市障がい者地域生活・相談支援センター

〒675-1380 兵庫県小野市中島町531番地
福祉総合支援センター内
電話: 0794-63-1000 Fax: 0794-63-1019

一般財団法人仁明会 仁明会病院

〒662-0001 兵庫県西宮市甲山町53-20
電話: 0798-71-3001 Fax: 0798-72-6004

医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院

〒662-0884 兵庫県西宮市上ヶ原十番町1-85
電話: 0798-52-2001 Fax: 0798-54-5176

大村病院広報誌 樹光 (じゅこう)

2021年4月1日 発行 vol.29

発行 医療法人樹光会大村病院

編集・制作 広報委員会